

● 介護付有料老人ホーム ●



おしゃれな外観のライフ&シニアハウス港北2

季節の植物にふれあい、 うるおいある日々を過ごす

❖………… ライフ&シニアハウス港北2（神奈川県横浜市）

■ 事業の特徴

新宿から横浜市営地下鉄ブルーラインで仲町台駅まで約55分。ドラマの撮影にも度々使われる同駅周辺は、タイル舗装された広い通りに、銀行や商店、おしゃれなカフェが並び、趣ある空間となっている。その駅前商店街を通り抜け、並木道を15分ほど歩くと「ライ

フ&シニアハウス港北2」に着く。

6階建ての同施設は、一般居住が併設された介護付き有料老人ホーム（一般型特定施設）。施設北側には、隣接した茅ヶ崎公園の緑が、まるで広大な庭のように広がり、利便性の高い駅周辺、閑静な住宅地、豊かな自然と3拍子揃った、恵まれた住環境に立地している。

ライフ&シニアハウス港北2は、(株)

生活科学運営が事業運営主体となり、2003年に開設。1999年、2駅離れたセンター北駅近くにできた「ライフ&シニアハウス港北」に続き、参加型のハウスづくりを実践している。

特徴は、施設をつくる際、事業主だけでなく、住まい手の組織であるNPO法人「福祉マンションをつくる会」がコーディネーターとなり、入居希望者と話



左●ウッドテラスに設けられた園芸スペース 中●屋上にあるフジ棚。施設のいたるところに緑が配されている
右●イチゴのコンテナ。実ったら収穫を楽しむ



上(2点)●園芸サークルで植えたジャガイモを掘り出す入居者たち。土に触れると昔日のことを思い出すこともあるという
下左●収穫したジャガイモはスタッフが調理し、夕食のおかず 下右●前の講座でつくった押し花で雛人形飾りに挑戦

し合いの場を持ち、住まい手の意見をできる限り反映させながら計画を進めていく点だ。開設後は、地元住民でもある生活クラブ運動グループ「ワーカーズ・コレクティブ」(31ページ参照)に介護の一部、食事、清掃、洗濯をそれぞれ委託し、福祉マンションをつくる会も引き続き暮らし合いの相談役を担う。(株)生活科学運営、福祉マンションをつくる会、ワーカーズ・コレクティブが連携して、ハウスだけで孤立しないよう地元と積極的にかかわりながら、入居者の生活をサポートし「住みたい地域に安心して住み続ける」ためのコミュニティづくりを目指している。

「ライフ&シニアハウス港北2の基本理念は、『みんなでつくろう』“いい人生

だなあ〜”と思えるハウス』。この言葉は入居者とスタッフと一緒に考えたものです。入居者一人ひとりが、これまで通りの暮らしを続けられ、さらにいい人生になるよう、スタッフが見守り、応援しています」とハウス長の廣瀬祥子さんは話す。

■状況に応じた入居システム

ハウスは、一般居室(ライフハウス)41室と介護居室(シニアハウス)36室で構成されている。建物1階は介護居室のほか事務室や食堂兼多目的室など共用スペース、2階は介護居室と一部一般居室があり、3階～6階は一般居室となっている。

自立型のライフハウスは、1R(34.66

m²)から2LDK(84.94m²)まで17タイプがあり、一人はもちろん、親子、兄弟、友人など、夫婦以外の人とも入居することが可能。さらにペットと一緒に入居もできる(動物飼育規定有り)。一方、介護型のシニアハウスは、1R(18.76m²～28.82m²)が基本となるが、どちらかが自立生活者であっても一緒に住める部屋(2部屋)を用意し、夫婦が離れずに暮らせる工夫をしている。

自立型と介護型の部屋があることで、ライフハウスの住人が介護状態となっても、新たに施設を探すことなく、シニアハウスのフロアに移るだけで状況に応じた環境に住み替えができる。顔見知りのスタッフ、住人に囲まれ、生活環境の変化による負担がなく、住み



季節の草花が素敵なエントランスに立つ国吉純さん

●プロフィール●1962年生まれ。上智大学文学部教育学科卒業。大手メーカーにて秘書業務に従事後、園芸講座、執筆、造園などを通して、家庭園芸の普及に力を注ぐ。2003年、ガーデナーの立場から市場調査、商品企画を提案する有限会社ジュリエッタ・ガーデンを設立。代表取締役就任。2009年からは住居、商業スペース、地域社会から農業に至る総合的な緑のコンサルティング、グリーンデザインディレクターという新たな仕事を展開。NPO法人日本園芸療法研修会・園芸療法コーディネーターおよび監事、英国王立園芸協会会員など

有限会社ジュリエッタ・ガーデン
〒224-0032 神奈川県横浜市都筑区
茅ヶ崎中央17-22-803
TEL.045-943-9661
URL. <http://www.juliniwa.com/index.html>

慣れた場所で安心して生活を続けられるという仕組みだ。

■園芸療法を取り入れたサークル活動

わが家のようなハウスづくりを目指すライフ&シニアハウス港北2では、日々の生活を楽しむためのサークル活動を充実させている。開設当初からある一つが園芸サークル「YUME」だ。YUMEでは専門家を招き、園芸療法を目的として取り組んでいる。指導しているのは(有)ジュリエッタ・ガーデン。

「園芸療法のいいところは、受け身ではなく、自らの手を動かし、外と社会との接点を植物という自然を通じてふれられることでしょうか。スタートしてから5年が経ちますが、繰り返しやるのが大切。基本的にスタッフは口添えや最小限の援助だけで、参加者が最後まで一人でやり遂げ、達成感を得られるようにと心掛けています」と話すのは(有)ジュリエッタ・ガーデン代表取締役の国吉純さん。教育学、社会福祉学を学んだのち、NPO法人日本園芸療法研修会の澤田みどりさん(16ページ参照)のもとで園芸療法を習得したという経歴の持ち主だ。

YUMEの会は月に一度開かれ、1階食堂前の庭や2階のテラスガーデンで季節の野菜や草花の世話をする。(有)ジュリエッタ・ガーデンのスタッフのほか、ハウスの園芸担当者、介助者が参

加者2人に対して一人つき、種まきや水やり、支柱立てなど、植物のようすを観察しながら指導する。

内容は前もって計画した年間プログラムをもとに、毎回作業終了後の会議で、参加者のようすと植物の成長具合、そして季節や天候に即して次回の作業内容を詳細に詰めていく。1回のプログラムの時間は約30分だが、集中して作業できる時間は10分程度だという。参加者の興味をひき、集中して一つの課題に取り組めるようアイデアをひねり出す。夏の猛暑日や雨の日などは、室内でクラフトやフラワーアレンジメントを楽しむこともある。

「野菜や植物の成長を目の当たりにし、手入れの仕方などに徐々に関心を寄せられ、私たちがハウスに何うとたくさんの質問攻めにあうこともしばしばあります。プログラムがない時にも、

参加者が積極的に水やりや花柄摘みなどの作業をなさっているお話、あるいは園芸プログラムに参加される方同士のコミュニケーションが盛んになったという嬉しい報告もいただいています」と国吉さんは話す。

■今後の課題

園芸サークル「YUME」の参加者は当初、20人だったが、今は10人前後になっている。人数が減ってしまっただけでなく、元気だった人も車いすになるといった変化も見られる。昨日できたことが今日はできない、気候によって手が動かない場合もあるといい、状況に合わせて細やかな対応をする専門家によるプログラム管理が欠かせない。ライフ&シニアハウス港北2では、(有)ジュリエッタ・ガーデンに委託して園芸療法を行っているが、プログラム1回5000円前後(材料費などの実費)+スタッフの交通費のみで、これだけでは事業としては採算が合わない。(有)ジュリエッタ・ガーデンは、ライフ&シニアハウス港北2すべての植栽管理を請け負うなどして、日々の植物の手入れを含めYUMEでの活動を継続している。現状では、園芸療法、植物を生活の中に取り入れることによる期待度は高まってきているとはいえ、年間を通しての予算を確保することは難しい。また事業面から見ても園芸療法士として生活が安定するまでにはいたっていない。

高齢者にとって、土にふれ日々を充実させる有意義な活動ではあるが、いかにして、資金と人材が確保できるかが課題といえる。

※……………プロジェクト概要……………※

所在地：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-7	●介護居室/2人入居3950万円(45.01㎡)～4100万円(46.70㎡)
運営主体：株式会社生活科学運営	月額
敷地面積：2787.23㎡	●管理費/9万4500円～16万2750円
延床面積：5334.04㎡*テナントを除く	●食費一人/5万9850円(1日3食×30日利用した場合。食費は注文した食数を支払う)
建物構造：鉄筋コンクリート造地上6階建(1,2階鉄骨鉄筋コンクリート造)	●介護費一人/4万2000円(要介護1～5)
権利形態：土地・建物/賃借	入居時の要件：入居時自立・要支援・要介護
開設年月：2003年11月	介護保険：神奈川県指定介護保険特定施設(一般型特定施設)
事業：介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)	介護居室区分：全室個室
居住の権利形態：利用権方式	一般型特定施設である有料老人ホームの介護にかかわる職員体制：2:1以上
利用料の支払い方式：一時金方式	連絡先：株式会社生活科学運営
●一般居室2210万円(31.68㎡)～6020万円(84.94㎡)	TEL.0120-580-731(入居相談室)
●介護居室/一人入居1440万円(18.76㎡)～2450万円(28.82㎡)	